



主要な農作物の生育情報

令和2年度 第3号

(令和2年6月10日)

福島県農林水産部農業振興課



【作物】

1 水稲

6月9日現在の農業総合センターの生育調査では、各調査場所とも草丈がやや短く、本部（郡山）と浜地域研究所（相馬）の茎数が少なく、会津地域研究所（会津坂下）の茎数が多くなっています。コシヒカリの主稈葉数からみた生育は、本部（郡山）、会津地域研究所（会津坂下）で平年並み、浜地域研究所（相馬）で平年より1日遅くなっています。

表1 水稲の生育状況（※）

| 調査場所 | 品 種 | 移植期 (月.日) | 6月9日調査 | | | |
|----------------|-------|--------------|------------|---------------------------|-------------|---------------|
| | | | 草丈 (cm) | 茎数 (本/m ²) | 主稈葉数 (枚) | 葉色 (SPAD値) |
| 本 部 | コシヒカリ | 5.15 | 24.1 (90%) | 218 (81%) | 6.6 (0.3) | 37.6 (1.7) |
| | ひとめぼれ | 5.15 | 23.6 (98%) | 241 (83%) | 6.7 (0.1) | 38.9 (0.7) |
| 会津地域 研 究 所 | コシヒカリ | 5.20 | 28.5 (93%) | 266 (108%) | 6.8 (0.1) | 36.8 (1.4) |
| | ひとめぼれ | 5.20 | 27.8 (97%) | 295 (108%) | 7.1 (0.3) | 39.4 (1.6) |
| 浜 地 域 研 究 所 | コシヒカリ | 5.11 | 30.6 (97%) | 416 (98%) | 7.1 (0.2) | 40.5 (0.8) |
| | ひとめぼれ | 5.11 | 28.2 (92%) | 414 (90%) | 7.2 (0.2) | 42.6 (-0.4) |

※ 調査場所は、本部（郡山）、会津地域研究所（会津坂下）、浜地域研究所（相馬）。
() 内の数字は、平年比較値を示す。

2 小麦（農業総合センターにおける生育状況）

各調査場所の出穂期は、平年並み～早くなりました（平年差－9日から＋1日）。登熟は順調に進んでいます。

【野菜】

1 夏秋きゅうり

県中地方では定植が平年並の5月中旬から行われ、概ね平年並に生育しています。多くのほ場では、6月中下旬から収穫が始まる見込みです。

2 トマト

収穫は4月中旬定植の作型で平年並の6月上旬から開始しています。5月上旬定植の作型では、果実肥大は概ね良好で、6月中旬から収穫見込みとなっています。

南会津地方では、共同育苗の播種が平年並の4月上旬に行われ、定植は6月上旬から行われています。

3 さやいんげん

播種は平年並の4月中下旬に、定植は平年並の5月中下旬にかけて行われました。概ね順調に生育しており、6月中旬から収穫が始まる見込みです。

4 ピーマン

トンネル栽培の作型は、平年並の4月下旬頃から5月上旬にかけて定植され、収穫は平年並の6月上旬から始まりました。露地栽培は、5月中旬から下旬にかけて定植され、順調に生育しています。

5 春ブロッコリー

県南地方では、露地栽培は平年並の3月中旬以降に開始し順調に生育しており、平年並の6月上旬に収穫ピークをむかえています。

【果 樹】（福島県農業総合センター果樹研究所における6月1日現在の生育概況）

1 もも

果実肥大を暦日で比較すると、「あかつき」は縦径が38.9mmで平年比119%、側径が32.4mmで平年比129%、「ゆうぞら」は縦径が38.8mmで平年比118%、側径が28.6mmで平年比123%と、両品種ともに平年より大きい状況です。

また、「あかつき」の今年の硬核期開始日は6月1日で平年より9日早くなりました。

2 なし

果実肥大を暦日で比較すると、「幸水」は縦径が22.0mmで平年比105%、横径が25.5mmで平年比108%、「豊水」は縦径が23.1mmで平年比103%、横径が24.9mmで平年比106%と、両品種ともに平年よりやや大きい状況です。

3 りんご

果実肥大を暦日で比較すると、「つがる」は縦径が26.7mmで平年比95%、横径が28.6mmで平年比102%と平年並、「ふじ」は縦径が29.3mmで平年比110%、横径が27.9mmで平年比117%と平年より大きい状況です。

4 病害虫の発生

モモせん孔細菌病、なし黒星病の発生が確認されるため、病害虫発生予察情報注意報や果樹情報特別号を発行して注意を喚起し、現地における耕種的防除や防除対策の徹底を図っています。

【花 き】

1 キク類

8月咲きの定植は平年並の4月下旬に、9月咲きの定植は平年並の5月中旬から下旬にかけて行われ、摘心等の作業についても概ね順調に進んでいます。生育については8月咲きの草丈が平年よりやや短い状況です。

病害虫は、苗からの持ち込みにより白さび病の発生が散見されますが、被害の拡大は概ね抑えられています。また、アブラムシ類やハモグリバエ類、アザミウマ類の発生が増えてきています。

2 リンドウ

リンドウは一部の品種で葉先枯れがみられますが、生育は草丈、節数ともにほぼ平年並みです。病害虫では、葉枯病の発生が散見されますが、拡大は抑えられています。アザミウマ類やハダニ類、カメムシ類の発生が増えてきています。

【飼料作物】

牧草は順調に生育しています。5月中旬から一番草の収穫期を迎え、現在収穫作業は終盤となっています。収量は平年並、品質は良好となる見込みです。

飼料用トウモロコシは5月上旬から始まった播種作業がほぼ終わり、順調に生育しています。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>）等を活用し、適切に対応しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7344

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujoyouhou>